

# ぽーと・ぷらす (沖縄・陽性者ミーティング) かわら版



次回 (第26回) は、29年2月4日 (土)

13時~15時を予定しています。

◆前回 (28. 10. 22) の参加者からのメッセージ

◆ぽーと・ぷらす (沖縄・陽性者ミーティング) って何？

「こういうとき、ほかのポジティブの人はどうしているんだろう・・・」  
「ほかのポジの人と話がしてみたい」

そのような声を受けて、2010年から3か月に1回のペースで当ミーティングがおこなわれています。参加人数は平均6名と話しやすく、初参加のかたも含めてお互いを認め合う雰囲気があります。今後も、**毎回を新たな始まりとして、【他の当事者に安心して聞いたり話したりできるような場】**を継続していく予定です。



「不安や模索している人が居ると思うが自分自身の判断で参加できれば良いと思う。」  
「もし悩んでストレスを感じているのであればこの場でストレス解消を。」  
「参加することがゴールではありません。それを乗り越えることで次の扉が広がりますよ。」  
「ドラッグやSEX依存、精神不安、色々な人達がいて良い場である、という事が伝えられたら良いな。」

あなたのペースでどうぞ。



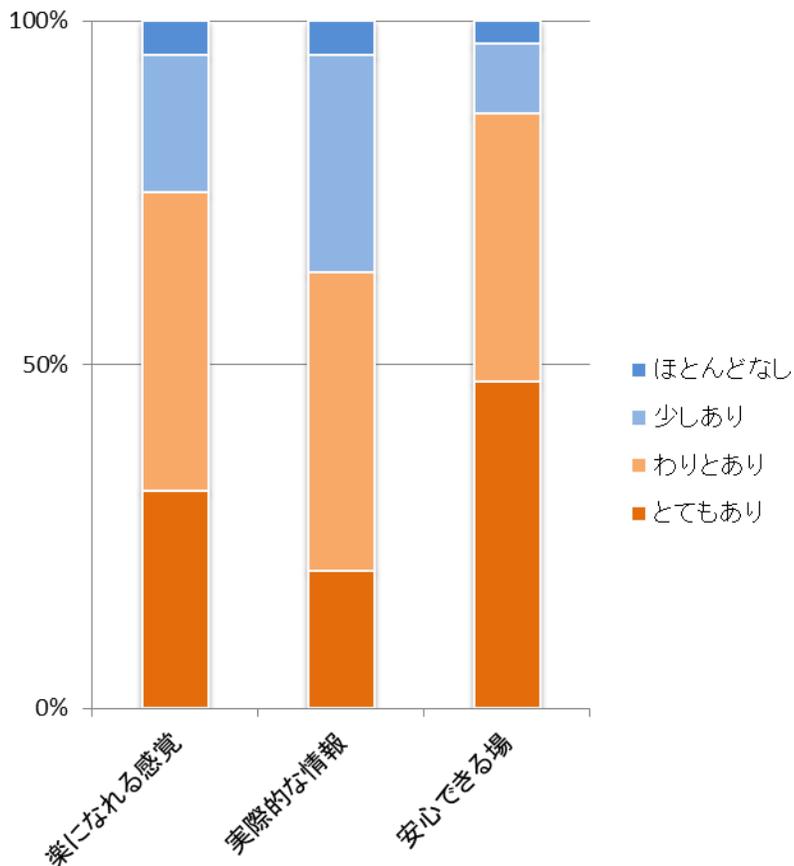
会場の一例

参加対象は、沖縄県内のHIV/エイズ診療拠点病院を受診しているHIV陽性者であり、セクシュアリティや感染経路は問いません。申し込み方法を含めた詳しい「ご案内」は、**受診時に診療チームからお受け取りください。**

沖縄県臨床心理士会HIVワーキンググループ

## ぽーと・ぶらす 参加者アンケートの結果（抜粋）

### 1. 参加することで得られそうな3項目 （第1～10回 のべ60名分の累計）



好意的な評価（オレンジ系の部分）が過半数を占めており、特に「安心できる場」を得られたと感じておられる参加者が多いです。

### 2. 前回（H28. 10. 22）の参加者の声（抜粋） （参加者から了承を得て掲載しています）

|                   |                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自由意見<br>今回        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・かなり意識の高い話が展開されたように思います</li> <li>・デリケートな話題も出ましたが時間があっというまに過ぎてしまった。</li> <li>・病院に対するストレスがいかに高いかが良く判った。（決して医療側に怠慢があるという事ではなく、構造的な問題もあると思う。）</li> <li>・毎回の出席で勉強になる。色々な人の考え意見が聴けて良い。</li> </ul> |
| 日常に戻って<br>していそうな事 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多分、今日と明日で何かが変わっているという事は無いと思います。でも、ストレスはかなり軽減された軽い気分で またしばらくは、日常を送れるかな？</li> <li>・優しく、生きる</li> <li>・極めて普通に生活しているように感じます。</li> </ul>                                                         |
| 自由意見<br>次回以降      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回話題が多くて楽しみです。</li> <li>・また新たな発見ができれば良いと思う。</li> <li>・カウンセラーの交流会や勉強会にも参加してみたいですね。</li> <li>・ちょこっとチャットSpecialをしたいですねw</li> </ul>                                                            |

今回は、参加者が自分たちの【器】を問い直し、広げていくようなディスカッションが展開されました。「色々な人」にとっての居場所になろう、という意気込みが感じられます。